



ハヤブサ

ニュース

No.37

絶滅危惧種
京丹後のハヤブサ

発行 米軍X バンドレーダー基地反対・京都連絡会

連絡先 〒602-8347 京都市上京区四番町121-5 大湾 宗則

電話&FAX 075-467-4437

郵便振込口座 00950-9-303127 名義 京都連絡会

6/1 沖縄・韓国・近畿をつなく国際シンポジウムと
6/2 京丹後現地総決起集会の報告 **山本**



宇川-久僧会館で現地総決起集会

6月1日14時から東山いきいき市民活動センターにおいて「近畿と沖縄と韓国を結ぶ6・1国際反戦反基地シンポジウム」が約50人の参加で開催され、6月2日13時から京丹後市の久僧公民館において「米軍Xバンドレーダー基地撤去！東アジアの平和を！辺野古埋め立てを許さない！6・2京丹後総決起集会」が約250人の結集で開催されました。



沖縄 キム・チヨミンさん



韓国 キム・ヨンジェさん



永井友昭さん



勝島一博さん

主催は、いずれも米軍Xバンドレーダー基地反対・近畿連絡会でした。この取り組みには、韓国のソソン里から総合状況対策室のキム・ヨンジェさん、沖縄から辺野古ブルーのキム・チミンさんが参加されました。

6/1の国際シンポジウムは、「基地建設と5年間の闘い」の映像の上映に続いて、近畿連絡会代表世話人の大湾宗則さんが主催者あいさつ（基調提起）を行いました。大湾さんは、国策との闘いの困難さを指摘した上で、「決してあきらめず、闘いの中で広がり行く団結こそが勝利への確信だ」と提起しました。この基調提起を受けて、京都連絡会共同代表の瀧川順朗さんが京丹後の闘い、キム・チミンさんが沖縄の闘い、キム・ヨンジェさんが韓国のサード配備阻止闘争の報告を行いました。そして、大湾さんのコーディネートで意見交換が行われ、それぞれの闘いの課題を共有し、連帯を強化していくための熱心な討議が行われました。

6/2 京丹後総決起集会は、最初は大湾宗

則さんが主催者挨拶を行い、地元の「憂う会」がいよいよ自ら基地前抗議行動に立ちあがったと紹介し、続いて「憂う会」代表の増田光夫さんがそこに至る経過の説明を行いました。次に「憂う会」事務局長の永井友昭さんが現地報告を行い、米軍関係者の交通事故の未報告問題など、相次ぐ米軍・防衛省の約束破りとそれに対する闘いを怒りをこめて報告しました。続いて辺野古ブルーのキム・チミンさん、韓国のキム・ヨンジェさんがそれぞれの闘いの報告と決意の表明を行いました。そして、東京から参加されたフォーラム平和事務局長の勝島一博さんの連帯あいさつ、連帯労組関西生コン支部副委員長の坂田冬樹さんからの特別アピールが行われました。

集会参加団体のアピールに続いて、近畿連絡会代表世話人の服部良一さんが閉会のあいさつを行い、宇川の集落の中を久僧から基地ゲート前・袖志に至るデモを貫徹しました。

この京丹後総決起集会は、米軍・防衛省による約束破りに対する断固とした反撃戦として成功しました。昨年の集会よりも多くの地元の住民が集会に参加し、温かくデモを迎えていただきました。また、この集会にはフォーラム平和関西ブロックや平和と民主主義をめざす全国交歓会も参加し、米軍Xバンドレーダー基地撤去に向けた陣形を拡大することもできました。そして、沖縄の辺野古新基地建設阻止闘争や韓国のサード配備阻止闘争への連帯を引き続き発展させることができました。京丹後総決起集会へのご参加とご協力にあらかじめ感謝します。



宇川地区を行進するデモ隊



米軍Xバンドレーダー基地ゲート前抗議行動

京丹後市役所前で2回目の抗議行動

文責：瀧川

米軍人・軍属の交通事故情報について、防衛省が3/19の第19回安心安全対策連絡会（安安連）で「今後は件数のみ報告する」としたことに反撃が始まっています。

- ① 6/5の第20回安安連で宇川連合区の山下会長は、事故防止の観点から「事故の内容が分からないと対策の立てようがない。地域住民の安全・安心を第一に考えていただきたい」と訴え、従来通りの情報提供を求めています。
- ② 西脇隆俊京都府知事は6/17米軍経ヶ岬通信所について「問題が生じることがあれば速やかに厳しく対処する」と表明しました。
- ③ 6/18の京丹後市議会の開催にあわせて早朝の抗議・アピール行動が取り組まれた。この行動の第1弾は、米軍基地建設を憂う宇川有志の会、米軍基地反対丹後連絡会、米軍Xバンドリーダー基地反対・京都連絡会の3団体の参加で5/17に行われ、今回はその第2弾。宇川有志の会の増田光夫代表は、同基地が配備された経緯を振り返った。中山泰前市長は住民説明会で「もし問題が起きたら基地撤去を申し入れる」と語ったと指摘。梅田副市長が防衛省の「事故件数のみ報告する」との方針転換を「容認」したことについて「三崎市長は、もう一度安全安心対策をリセットしてほしい。」と訴えました。京都連絡会は、抗議・アピール行動の後、基地対策室に京丹後市長あての申し入れを行いました。
- ④ 京丹後市議会では追及が続いています。

6/18の質問で橋本市議（共産）は、三崎市長が2016年の市長選で「基地配備に伴うあらゆる不安の解消」を掲げて当選したことを取り上げ、「公約違反だ」と指摘しました。

6/19の池田市議（丹政会）は、「市の姿勢が後退しているのでは、（市が基地受け入れの際に防衛省と交わした確認条件の）10項目が崩れているのではないかと」ただし、「当初の約束を守っていただき、（事故の内容を）報告してほしいとすることが市のスタンスではないか」と述べました。

必ずしも十分な反撃ができていないわけではありませんが、地元自治体（京丹後市）が米軍・防衛省に毅然と約束を遵守するよう迫る要請を強め、基地を抱える自治体（京丹後市、京都府）に日米地位協定改訂の具体的行動を始めるよう更に迫っていくことが求められています。

6月「街なかピラ」の報告

白井美喜子



「街なかピラ」の報告

- 第77回 5月20日（月）
千本中立売周辺 7人
第78回 6月11日（火）
大手筋商店街 6人

<街の人の声>

◇（千本中立売で）好意的な人が多かった。宮津出身の男性や中浜出身という人、「お母ちゃん間人出身や、お母ちゃんに見せるから」とチラシを受け取ってくださった人など、丹後出身の人が多かった。丹後と西陣の織物を通したつながりを再認識しました。

◇（大手筋で）「難しいことはわからん」「ティッシュはないのか」「軍備は最先端の物を持たんとアカン」「日米安保で日本は守られている」「社会福祉に回す金が無くなる」「基地っていややね〜」などの声に丁寧に応えながらピラを渡しました。

次回の「街なかピラ」の案内です。

第79回 6月25日（火）叱野天満宮は終了しました。

第80回 7月4日（木）11:00~12:00

JR「山科」駅周辺 集合場所：JR「山科駅」

第81回 7月19日（金）11:00~12:00

烏丸北大路周辺 集合場所：烏丸北大路西南角

お忙しいでしょうがご都合の付く方は是非ご参加ください。

090-5672-1597（白井）

京丹後 訪問活動

7月12日（金） 8:30 集合・出発
五条大橋西詰ガソリンスタンド前

申し込みは瀧川（080-8327-5588）

8月 例会は「納涼☆ゆんたく」

8月20日（火）18:30

さざんか亭 ¥3,000円（飲み放題）
（非アルコール 2,500円）

今日だけ一服・明日からのために……
予約限定員30人 山本まで090-1590-9469

沖縄・平和行進報告---2019.5.16-19 韓国基地平和ネットワークの14人と一緒に 平和行進・座り込み・沖縄フィールドワーク



出発前 韓国の仲間と 左 南野さん

沖縄報告 南野

沖縄平和運動センターが主催する5.15平和行進は沖縄-琉球弧諸島に加えて、韓国各地で軍事基地に反対する運動を繰り広げている韓国基地平和ネットワークの14人を含め、全国から2000名の参加で勝ちとられた。

5/16沖縄県立武道館で開催された全国結団式に海外ゲストとして平澤(ピョンテク)平和センターのイム・ユンギョンさんは「朝鮮半島の戦争は去れ、平和よ来い！」と訴え、演壇前に立った参加団は「平和は銃剣で守ることはできない」「軍事基地はどこにもいらない」「辺野古新基地建設反対！米軍はアメリカに帰れ！」との横断幕でアピールした。

5/17から中北部と南部の2コースに分かれて行われた行進には、全国各地の労組、平和団体と共に沖縄から教組、自治労、全港湾、全水道その他市民団体がそれぞれ幟を掲げて参加し、シュプレヒコールを繰り返しながら元気に行進した。戦後74年の今なお残る沖縄戦の傷跡と基地の重圧を全身で受け止めながら進む平和行進は、改めて沖縄の現状に向き合い、「戦争と基地にNO!」を突き付ける大きなデモンストレーションとなった。

手をつなごう！沖縄・韓国・アジアの交流集会

5/16夜「ぎのわんセミナーハウス」で開かれた「海を越え手をつなごう！沖縄・韓国民衆連帯と平和構築」と題する交流集会には50人余が参加。韓国各地・各団体からの報告は、平澤平和センター、韓国国際平和フォーラム、開かれた軍隊のための市民連帯、サード基地に反対する星州ソソン里、済州島カンジョン村の住民会が行った。沖縄側からは、先の4/27 DMZ(38度線) Human Chain=人間のク

サリに参加した沖縄からの訪問団がパワーポイントを使用し報告した(5団体の報告文は別途報告会で渡します)



デモ 出発前の風景

その後はお茶とオードブルでの交流会。日韓両国語が混じる自己紹介、歌、プレゼント交換、そして最後は全員が輪になって安里屋ユンタを踊り、歌った。年々交流が深まっていく印象だ。海を越え、国境を越え、言葉の違いを越え、ともに戦争のない平和で、人間が人間らしく生きられる世界をめざして闘っている者同士の連帯が自然に感じられた。

5/17は辺野古ゲート前から宜野座村役場まで行進し、佐喜真美術館で丸木夫妻の沖縄戦の図、読谷村のチビチリガマ、恨の碑、道の駅かでな展望台から嘉手納基地をフィールドワークし、5/18は嘉数高台公園の朝鮮人追悼碑の青丘の塔、慰安所跡、展望台から普天間基地とオスプレイを、更に南部に移動し、八重瀬町の白梅塚、糸満市の平和祈念館、平和の礎の朝鮮人追悼施設を沖韓民衆連帯の仲間から説明を受けながら歩んだ。

炎天下、基地のない沖縄へ向けた歩み

平和行進の最終日5/19(日)は、宜野湾市役所から海浜公園まで行進。例によって、5.15平和行進には毎年必ず現れる警察許容の右翼街宣車14台が違反大音響のマイクで汚い言葉を吐き出しながら妨害行動を続けた。この日はからりと晴れて、ゴールの海浜公園屋外劇場へ向かって歩みを進めた。

大会は、山城博治平和運動センター議長のあいさつのあと、衆参議員4人と高良鉄美予定候補が連帯のあいさつに立った。ヘリ基地反対協の安次富浩共同代表も「沖縄の未来を安倍政権に委ねない。辺野古新基地は必ず止める」との断固たる決意を明らかにした。韓国訪問団はシン・ジェウクさんが「3日間戦争の傷跡が残る場所を歩いた。辺野古、普天間、嘉手納、様々な基地を見た。歴史が刻まれた場所を歩くことは過去の歴史を心に留めることだ。長い足跡の一番後ろに私たちは立っており、どのように歩いていくかを知っている。皆さんと共に平和の道を進んでいく」と述べた。

最後に大会宣言、ガンバロー三唱、「沖縄今こそ立ち上がろう」「沖縄を返せ」の合唱、閉会宣言で、炎天下1時間半に及ぶ大会の幕を閉じた。



平和行進 報告集会 宜野湾海浜公園 野外集会所

京丹後・沖縄と日本と世界の動き

大湾

京丹後の今

米軍と防衛省は、住民との約束違反を常態化している。2013年、基地建設受け入れを前にした住民説明会で防衛省は「住民の安心・安全に万全を期す。事件・事故の報告概要は住民と京丹後市に丁寧に報告する」と約束して基地建設の同意をとりつけた。守られた約束は一つもない。

特に、事件事故の報告はこれまで「概要」が報告され、その報告に基づいて住民や京丹後市は安全対策を取ってきた。しかし米軍は「今後、事件の件数だけに留める」と。これを防衛省も日米合同委員会で確認し住民に伝えた。

「国や米軍のやることはそんなもの」とあきらめてはならない。ことは命と暮らしに係わる安心安全の問題だ。

辺野古の今

知事選、県民投票、衆議院補選の結果に示された沖縄の民意を安倍政権は無視して埋め立てを強行している。

沖縄県が国交相に対して「県の埋め立て撤回を取り消したことは違法」と申し立てたことに対して国地方係争処理委員会(法務省所轄)は又も門前払いした。再び裁判闘争だ。権力の違法は決して許してはならない。

政府は、基地建設予定地に軟弱地盤があることを認めつつ、県の設計変更許可がないまま、大浦湾に7万7千本の砂杭を打ち込む違法工事を続けている。沖縄は4/28だけでなく、毎日が屈辱の日だ。闘いつづける理由だ。

沖縄の人々、全国から駆け参じた人々は今日も大浦湾にカヌーや監視船で、又、ゲート前で座り込み、安波や塩川、琉球セメントの栈橋で土砂搬入阻止を闘っている。

京丹後と沖縄の実情を知るだけでは国策と闘う困難さは分かりづらい。日本と世界で何が起きているか、それらと関連づけて見る必要がある。

日本で今

天皇退位・譲位・即位の「儀式」はトランプを国賓として迎え、安倍内閣による天皇の政治利用として行われた。

この時の厳戒態勢。又、吹田市で起こった警察官からの拳銃強奪事件、この時も警察は「住民は外出を控えるように」と警告し、事実上の外出禁止令。又、6/28～29に開かれるG20の警備体制は、数千の警官を動員し、数週間前から交通規制、駅その他のコインロッカーの使用禁止など正に非常事態体制。

これらのことを関生支部に対する弾圧と併せて理解しなければならない。関生支部の行動は、労働三権を踏まえた当たり前の労働組合運動である。約束した賃上げを期限通り実施せよと交渉に出かけたことが「強要」、それでも賃上げを渋る業者に対するストライキや法令遵守を注意したことが「威力業務妨害」、そしてこれらのことを組合で話し合っただけと見なして「共謀罪」の適用を仕掛けてきている。関生支部の闘いは、憲法第28条で保障された労働三権(団結権・交渉権・争議権)を実践し、業種別の産業別労働組合として中小業者の協同組合作りを援助し、彼らと労働組合との共闘でゼネコン大企業の超過搾取と

闘い、業者も労働者も生活改善を実現してきた。大独占や政府にとって原則的な労働組合を認めることは出来ない。関生支部への攻撃の背景である。

共通項は国策推進・闘う組合つぶし・治安強化

辺野古・京丹後・関生支部、そしてトランプを招いた天皇の代替わりの政治利用や各種事件の治安強化、更にG20での弾圧強化は共通している。

民意無視、法令無視、約束違反、組合つぶし、そして共謀罪を具体化させて労働三権(社会権)を芽の内に摘み取ろうとする政府・財界のやり方は憲法改悪・緊急事態条項の具体化そのものだ。

辺野古も京丹後も関生支部も政府の金と権力を動員した国策と闘っているという点で困難は折り込み済みである。あきらめさえしなければ敗北ではない。広がり行く団結こそが勝利の鍵だ。

世界の今と参議院選挙の意義

ヨーロッパ(EU)の議会選挙で既存の二大政党、中道リベラル左右が大敗した。没落した中間層と上層労働者が癒着した中途半端は破産している。

既得権益を守ろうとする排外主義に対して差別分断と闘い、国際連帯を強めなければならない。

7月参議院選挙で新基地建設に反対する沖縄と約2100万非正規雇用労働者が手を結び、労働三権を掲げる関生支部を支え、(沖縄・非正規・関生)の三結合を軸に他の国策と闘う仲間と連帯し、全国闘争として組織すること、これが参議院選挙の意義だ。

沖縄から新基地建設反対の沖縄県議・仲村みおさんが比例区で、また、大阪から比例区で大椿ゆうこさんが非正規労働者の全国的連帯を訴えて出馬する。1人当選させるのに100万票。仲村、大椿の必勝をかけて全国で200万票を確保しよう。

関西生コン 反弾圧闘争

毎週土曜日滋賀行動

10:30 大津警察署前→西武前で街頭宣伝

7月23日(火) 労働三権破壊を許さない

18:30 ウイングス・京都

7月例会(米軍Xバンドレーダー基地反対京都連絡会)

参議院選の総括とこれからの反基地闘争

7月25日(木) 18:30~

東山いきいき活動市民センター集会室

提起者: 大湾宗則共同代表

資料あり 無料 多数のご参加を・・・

企画

6月30日(土)14:00 東山いきいき活動市民センター
アジア共同行動京都集会(G20 闘争報告)

9月21日(土)18:00 京都ひとまち交流館

【総会】No Base! 沖縄とつながる京都の会